

平成30年度

新潟県包装研究会

- 開催日時：平成31年1月18日(金) 13:00～16:10
- 会場：朱鷺^{とき}メッセ(新潟コンベンションセンター) 302会議室(新潟市)
- 主催：公益社団法人日本包装技術協会(JPI)

当会では、会員サービスの一環として、年1回、新潟県にて包装研究会を開催しており、毎年地元の会員企業を中心に多くの方にお集まり頂き、好評頂いております。
本年度のプログラムでは、宇宙食の歴史と現状ならびに災害時の食への活用と、冷凍食品、その知られざる魅力についてご説明いただけます。
どうぞこの機会に、奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

講演プログラム

時間	13:00～14:30	テーマ：宇宙食の歴史と現状ならびに災害時の食への活用 講師：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) 広報部 特任担当役 中沢 孝 氏
講演内容	宇宙飛行士が国際宇宙ステーションなどで日々食べている宇宙食はジェミニやアポロなどのカプセル宇宙船の時代から大きく変わっています。本講演では世界の宇宙食の歴史を振り返るとともに、我が国独自の宇宙食である「宇宙日本食」の開発の経緯や、開発にあたって苦労した点、認証基準などについて説明をします。宇宙日本食の開発のポイントの一つであった容器包装についても基本的な考え方や、仕様、将来に向けて改善が求められる点などを紹介します。宇宙環境と災害時の環境は似た部分が多く、宇宙食と災害食に求められるものも類似点が多々あります。災害時の食に求められる要求点を整理し、宇宙食の技術や経験が災害食に行かされる可能性についての提言なども行います。	
時間	14:40～16:10	テーマ：冷凍食品、その知られざる魅力 講師：一般社団法人日本冷凍食品協会 広報部長・消費生活コンサルタント 三浦 佳子 氏
講演内容	今や、オール食品のトップランナーになりつつあると言われている「冷凍食品」は国民の食生活には欠かせない、身近で便利な食品です。ただ凍ってれば冷凍食品とは言えません。冷凍食品と呼べる4つの条件のうちの一つは「適切に包装されている」ことです。少子高齢化、単身世帯の増加等、社会構造の変化や消費者嗜好の変化に対応してきた冷凍食品。スーパーマーケットだけではなく、コンビニエンスストアやドラッグストアなど売場が広がるなか、生産量も過去最高となりました。今回は冷凍食品とは何か、その知られざる魅力について楽しく語ります。	

開催要領

- 日時：平成31年1月18日(金) 13:00～16:10
- 会場：朱鷺(とき)メッセ
新潟コンベンションセンター3F 302会議室
新潟市中央区万代島6-1(案内図参照)
- 参加料：公益社団法人日本包装技術協会の会員の方：無料
一般社団法人新潟県食品産業協会の会員の方：無料
一般の方：一講演につき3,240円(税込)
- 定員：80名
下記申込書に記入いただきFAXにてお送り下さい。
お断りする場合のみご連絡します。
当方より連絡がない場合は直接会場にご来場下さい。



お問合せ・お申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 新潟県包装研究会係 担当:佐藤
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
e-mail:satou@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「平成30年度新潟県包装研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。

平成30年度新潟県包装研究会 申込用紙 担当:佐藤(FAX.03-3543-8970) No. _____

会社名										
所在地	(〒)									
電話					FAX					
参加者	氏名				所属 役職			e-mail		
	氏名				所属 役職			e-mail		
	氏名				所属 役職			e-mail		

(該当する方に○をつけて下さい)

(公社)日本包装技術協会会員 ・ (一社)新潟県食品産業協会会員 ・ 一般